

# 7月3日(金)~7月31日(金) 満月セレクト

— 今回のセクター ご紹介 —

Music Selector : 小山 雅徳



小山 雅徳

Kevin Ayersの「不思議のヒットパレード」(原題:Odd Ditties)に触発されて、世界中のいろんなところをきままに彷徨っている神奈川県生まれの音楽空想旅行家。2000年ブラジル音楽への偏愛を「Musica LocoMundo (ムジカ・ロコムンド)」という書籍にて密やかに披露。今回セレクトしたCDをはじめ各ジャンルのCD監修や選曲も展開している。レコードやCDなどパッケージで音楽を楽しむこと、ブラジル音楽の素晴らしい世界を広めるために日々奮闘している。

## 今回のセレクトCD

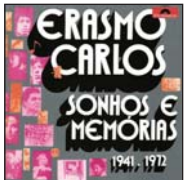
1.



### Dominginhos / Domingo Menino Dominginhos (UNIVERSAL MUSIC / UICY-77284)

ブラジルを代表するアコーディオン奏者ドミンギーニョスが、ジルベルト・ジル、トニーニョ・オルタ達、ご機嫌な仲間と作った素敵なアルバム(1976年発表)。アコーディオン良し、歌良し(ほんわか)、曲良し、グルーブ良しと最高にリラックスできる名作。来日してほしかったけれど、残念ながら2013年7月25日に亡くなってしまいました。

2.



### Erasmo Carlos / Sonhos E Memorias-1941.1972 (UNIVERSAL MUSIC / UICY-77242)

ブラジル・ポップス界の顔役、エラズモ・カルロス。数ある作品の中でもとびっきりな一枚がこちら(1972年発表)。この時代が持つ少し厭世的なイメージをうまく歌に昇華させたアルバム。全体的にメロウなサウンドもサイケデリックに彩られ、ロックンロール・ナンバーも覚醒したサウンドでぐいぐい聴かせてくれる。

3.



### Radames Gnattali Sexteto / Selie Depoimento Vol.2 (UNIVERSAL MUSIC / UICY-77240)

1906年生まれの名作曲家ハダメス・ニャッタリのもダンなショーロ作品集(1975年発表)。ショーロとは、ブラジル音楽のジャンルの一つですが、巷ではジャズより歴史が古いと言われてもいます。このたおやかなサウンドは2015年の今、聴いても本当に美しい。瀟洒なだけでなく、かくしゃくとした演奏が素晴らしい。なんと彼が御年70歳位の頃に出したアルバムです。

4.



### Lo Borges / A Via-Lactea (UNIVERSAL MUSIC / UICY-77253)

ミルトン・ナシメントと連名でリリースされた「街角倶楽部」(原題:Clube Da Esquina)でデビューしたシンガーソングライター、ロー・ボルジェスのアルバム(1979年発表)。ガラスのような透明感あふれるギターとたなびく雲間を思い起こさせる浮遊感あふれる歌声が愛おしい。来日した時、鎌倉、江の島を一緒に散策した思い出が懐かしい。

5.



### Taiguara / Imyra, Tayra, Ipy, Taiguara (UNIVERSAL MUSIC / UICY-76405)

ブラジルは、日本の22倍ぐらいの国土を保有している大きな国ですが、音楽も我々の想像をはるかに超えるような作品が生まれ出されます。このタイグアアという音楽家のアルバム(1976年発表)は、鬼才エルメート・パスコアルとの出会いによりブラジル全土の音楽で表現したかのようなジャンルを軽々超えた魅惑の熱帯音絵巻となりました。